

新基地建設反対名護共同センターニュース

政権交代で辺野古新基地建設の中止を！ 各地島ぐるみスタンディングを再開



那覇市内の安里・大道・松川島ぐるみの会は11日、安里交差点で5カ月ぶりにスタンディングを再開、21人が参加しました。「オール沖縄で政権交代」、「南部の土砂採取許さない」「民意を尊重せよ」など思い思いのパネルやのぼりを掲げ8時から30分間、行きかうドライバーや歩行者に手を振り訴えました(写真上)。

県労連などが県庁前でスタンディング

沖縄県庁前でも11日、県労連と渡久地修県議(共)など10人がスタンディング。県労連穴井議長がマイクを握り、大企業優遇の安倍・菅・岸田の自民党政治を転換し、オール沖縄の全員勝利で政権交代を実現し、最低賃金を全国一律1500円など働く人のための政治をつくりましょう」と訴えました。(写真中)

「安里島ぐるみ」が5カ月ぶり21人で



名護市内でも
島ぐるみ会議名護は、連日朝「政権交代」ののぼりを前面にスタンディングを続けています。8日は市内産業支援センター前で吉居俊平市議(共)、具志堅徹元県議、新婦人の会員など4人が参加しました。



名護民商でヤラ候補が経済講演会

名護民商は9日、ヤラ朝博衆議院議員(沖縄3区予定候補)を講師に「沖縄振興と経済」と題して同民商会館で講演会を開催、31人の会員が参加しました。

沖縄を食い物にする構造見直しを

ヤラ氏は、沖縄振興のためには物流コストの削減や、鉄軌道の導入が不可欠だと訴え、公共工事の50%は本土ゼネコンに還流している。沖縄を食い物にする構造を変える必要があると強調しました。



講演後、ヤラ氏に花束が贈呈され、総選挙でヤラ氏はじめ「オール沖縄」の4候補全員の必勝を誓い合いました。

「少ないけど思いはいっぱいです」などと16万円 辺野古ストップ滋賀の会「辺野古NO!とカンパを!」と訴えたら

「滋賀の会」高田さんからのメッセージ

沖縄県の勧告にも従わず、防衛局がサンゴ礁の移植と称して無雑作にサンゴを割り有害な接着剤まで使って、破壊している報道に「心が痛いね」、「あまりにも酷過ぎて言葉が出ない」と涙を流し、「なんか出来ることない?」と憤りの声が寄せられました。そこに届いたのが名護共同センターなどからの「カンパのお願い」です。さっそく「名護共同センター」などのカンパご協力のお願いの訴えをつくり、共同センターニュースと一緒に、「会」賛同者のうち、親しくしている約60人に郵送しました。

9月10日に発送すると一週間もしないうちに約8万円もの入金があったので、ビックリ。「もうとても、辺野古まで行けないだろうから」と静岡在住の私の姉2人から各3万円。他に「少なくとも申し訳ないけど、思いはいっぱいです。少しでもお役に立ちたくて」と何人もの方が数千円ずつの振込み。総選挙の街頭演説会場でと渡してくれた方、宗平協例会で「少しやけど、一緒に送ってな」と渡してくれた僧侶さん。半月で16万円ものカンパが寄せられました。郵送料やコピー代を除いた15万円を現地へ送金。みんなの沖縄の仲間たちへの熱い思いが少しでも届きますようにと願っています。市民と4野党との共通政策に「辺野古新基地建設中止」も入って、政権交代めざす選挙活動にも力が入ります。滋賀の地で、私たちも精いっぱいがんばります。ご一緒に、「辺野古NO!の政権へと交代」めざしてがんばりましょう。

辺野古新基地建設ストップ滋賀の会
高田 恵子

講演会のお知らせ

「サンゴの海が泣いています」

とき：10月22日(金)

PM6:30~8:30

場所：名護市港区公民館

講師：大久保奈弥先生

(東京経済大学准教授)

資料代：500円

主催：へり基地反対協



10月23日のサンセット
ライブの開催時間は
PM5:00~7:00です。

訂正